

u-Japan大賞表彰

「u-Japanベストプラクティス2008」 優秀事例紹介



2008年6月

総務省

表彰趣旨

u-Japan大賞概要

- 生活やビジネスの様々な場面における課題を解決するICT(情報通信技術) サービス・システムの事例を蓄積し、ユビキタスネット社会における活用モデルとして広く普及啓発を図ることを目的として、本年2月より実施した「u-Japanベストプラクティス」の事例募集に対して応募のあった事例のうち、優秀な事例について表彰を行うものです。

募集期間:平成20年2月8日から平成20年3月21日

対象:ユビキタスネット社会におけるICT活用モデルとなるもの。
ネットワークを利用しているICT関連のサービスやシステム全般で、既に実用化されているもの。社内活用、外部向けのいずれも対象とする。

- 本年は、ICTの利活用による地域課題の解決・地域活性化、および地球温暖化問題への対応に関する評価基準を加え、大賞・地域活性化部門賞・環境部門賞を選定しました。

表彰概要

区分	サービス・システム名	開発・提供者
【総務大臣賞】		
大賞	インターネットを利用した地域医療連携システム	株式会社エスイーシー
地域活性化部門賞	地域の路線バス利用促進のためのバス経路探索システム「バスネット」	日本トリップ有限責任事業組合、国立大学法人鳥取大学工学部 計算機工学A研究室
	全国少年少女草サッカー大会運営支援システム	特定非営利活動法人ふじのくに情報ネットワーク機構
環境部門賞	農業情報管理システム(生育予測・食味解析システム)	日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社
【審査委員賞】		
審査委員特別賞	ユビキタスセンサーネットワーク機器「フィールドサーバ」	株式会社イーラボ・エクスペリエンス

地域活性化部門賞

バス経路探索システム「バスネット」

鳥取大学工学部計算機工学A研究室

鉄道や高速バスだけでなく、県内の路線バスの全ての時刻や経路を検索できるシステムです。最寄りのバス停・駅への徒歩経路を地図で表示したり、出発地や到着地のバス・鉄道の時刻を表示することができます。

サービス・システムの狙い

- 分かりやすい経路探索システムを提供することで、地域の高齢者や未成年者、観光客の重要な移動手段であり、地球温暖化対策の観点からも期待されるバス路線の活用を促進します。
- 出発地-目的地間の経路探索や、目的地に向かう複数のバス路線の時刻一覧表示など、実際のバス利用者の視点に立った機能で、路線バス利用をサポートします。

利活用の状況と導入効果

- 平成18年7月より提供開始され(当初は鳥取県東部地域のみ)、平成19年12月から鳥取県全域対応のサービスを提供しています。(現在の月平均アクセス数は36,000件)
- 鳥取県公式ホームページにおいても、県庁舎への公共交通機関案内のシステムとして、「バスネット」が活用されています。

バス経路探索システム「バスネット」の特徴

- バス停間だけでなく、出発地-目的地間のバス乗り換え案内を行います。徒歩経路も地図で提示します。
- 目的地に向かう複数のバス路線の時刻を一つにまとめて表示します。
- バス停時刻表をWebページから利用者の手で印刷できます。



● 本件お問い合わせ先

鳥取大学大学院工学研究科情報エレクトロニクス専攻 教授 菅原一孔
 TEL : 0857-31-5218 E-mail : sugahara@ike.tottori-u.ac.jp

すがはらかずのり
 菅原一孔

地域活性化部門賞

「全国少年少女草サッカー大会運営支援システム」

特定非営利活動法人 ふじのくに情報ネットワーク機構

毎年夏に静岡市で開催される全国最大規模のサッカー大会の運営全般を支援するシステムを、静岡県立大学の学生が地元NPOの支援を受けて開発したものです。

サービス・システムの狙い

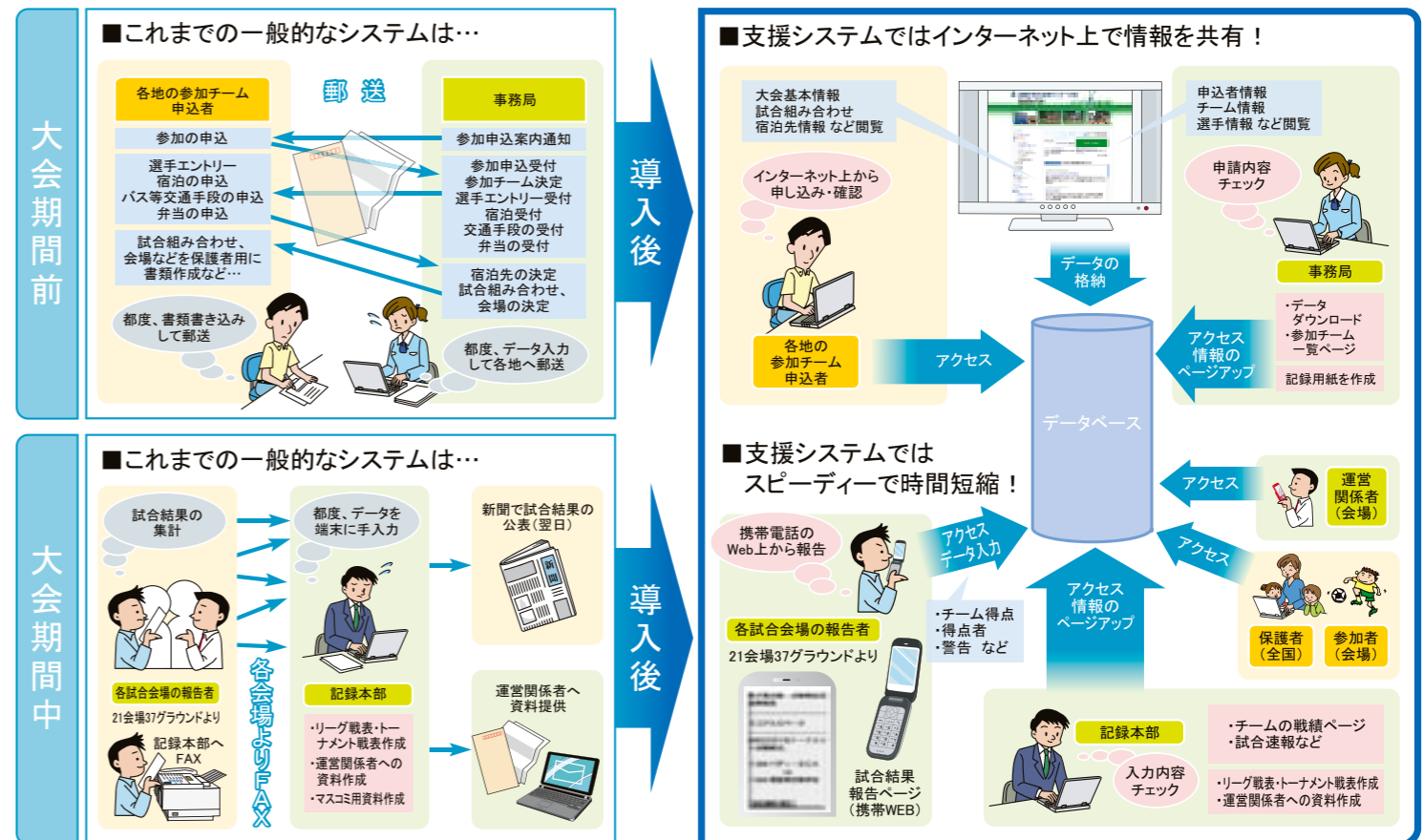
- サッカーのまち“清水”の活性化を目標に、大会をインターネットで全国に発信するほか、大規模な大会の事務局運営を効率化し、地域スポーツ振興活動を安定かつ持続的に支援します。
- 分散した会場での試合結果速報をインターネット経由で発信するほか、対戦相手の決定、会場移動、宿泊施設、弁当配布などの事務局の業務全般を一元的に管理・支援します。

利活用の状況と導入効果

- 第20回大会(平成18年)から導入され、第21回大会、第22回大会でも引き続き導入されています。
- 試合結果の集計業務の時間を1/3に短縮し、試合終了から30~40分後にはWebで結果を告知できるようになりました。
- 平成19年8月は172万ページビュー、9.6万人がアクセス。
- 実践なICTスキルをもった地域人材を育成しています。

全国少年少女草サッカー大会運営支援システムの特徴

- 分散した会場での試合結果を、携帯電話のWebデータ入力、メール、カメラを活用して報告・確認して、試合結果の速報をインターネット経由で発信します。
- 対戦相手の決定、会場移動、宿泊施設、弁当配布などの事務局業務全般を一元的に管理・支援します。



● 本件お問い合わせ先

特定非営利活動法人ふじのくに情報ネットワーク機構 事務局長：牧野弘宣
 TEL : 054-273-4914 (株式会社 TOKAI 内)

大賞

「インターネットを利用した地域医療連携システム」

株式会社エスイーシー

地域の参加医療施設間をインターネット回線で接続し、それぞれの施設が保有している診療情報の相互参照を可能とし、緊密な医療連携を実現するシステムです。

サービス・システムの狙い

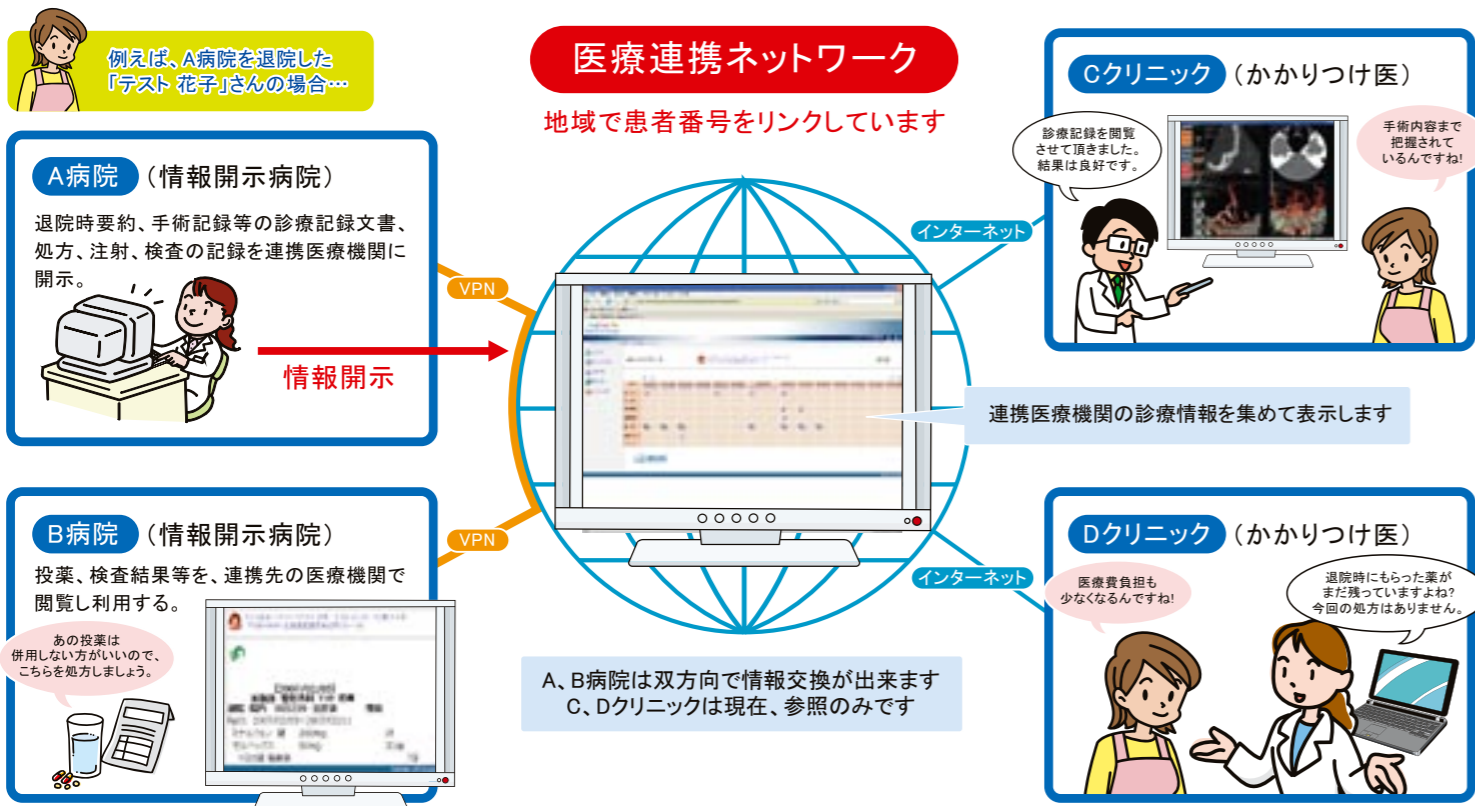
- 機能分化が進んでいる医療機関の情報共有・開示を図ることにより、医療行為の効率の改善と医療費の削減を実現します。
- 地域の限られた医療環境の中で、患者の満足度と納得性の高い一貫した医療の提供に貢献します。
- 参考URL: 道南地域医療連携協議会「道南MEDIKA」
(<http://www.mykarte.org/xoops/>)

利活用の状況と導入効果

- 平成20年4月より北海道道南地域で導入を開始しました。40施設から申込みがある中、4月末現在では16施設が接続を完了し、実運用を開始しています。
- 導入効果に関しては実運用を通じた成果検証を待つ必要がありますが、回復期病院における1年間の試行実績人数に基づく試算では、投薬・検査・画像撮影の重複防止により、年間約160万円(患者1人の転入院1回につき3,610円)の削減効果が期待されています。

地域医療連携ネットワークの特徴

- 医療連携ネットワークに参加している施設の診療情報を共有できるため、一貫した医療が可能となります。
- 重複した薬の処方、検査、写真撮影を防ぐことが出来、医療の効率の改善・医療費の削減にもつながります。
- 診療情報が開示されるため、納得できる医療につながります。(地域の患者番号で情報が一元管理されます)



VPNとは・・・【Virtual Private Network】の略。データ通信の拠点間を専用回線で接続することを指します。最近では通信キャリアの持つバックボーンネットワークを利用して通信を暗号化し、専用回線のように安全な相互接続を実現する事をいいます。

●本件お問い合わせ先

(株)エスイーシー 医療システム事業部 担当: 伊藤 TEL: 0138-23-6596 E-mail: ryujii@it.secnet.co.jp
道南地域医療連携協議会「道南MEDIKA」<http://www.mykarte.org/xoops/>



総務省情報通信政策局総合政策課

〒100-8926 東京都千代田区霞が関2-1-2 中央合同庁舎第2号館
電話: 03-5253-5718 FAX: 03-5253-5721
u-Japan 政策ホームページ http://www.soumu.go.jp/menu_02/ict/u-japan/index.html

環境部門賞

農業情報管理システム(生育予測・食味解析システム)

日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社

衛星画像を利用して小麦の生育状況を解析し、刈取り時期と刈取る圃場の順番を最適化することにより、小麦の乾燥エネルギーの削減や刈取り作業の効率向上を実現するシステムです。

サービス・システムの狙い

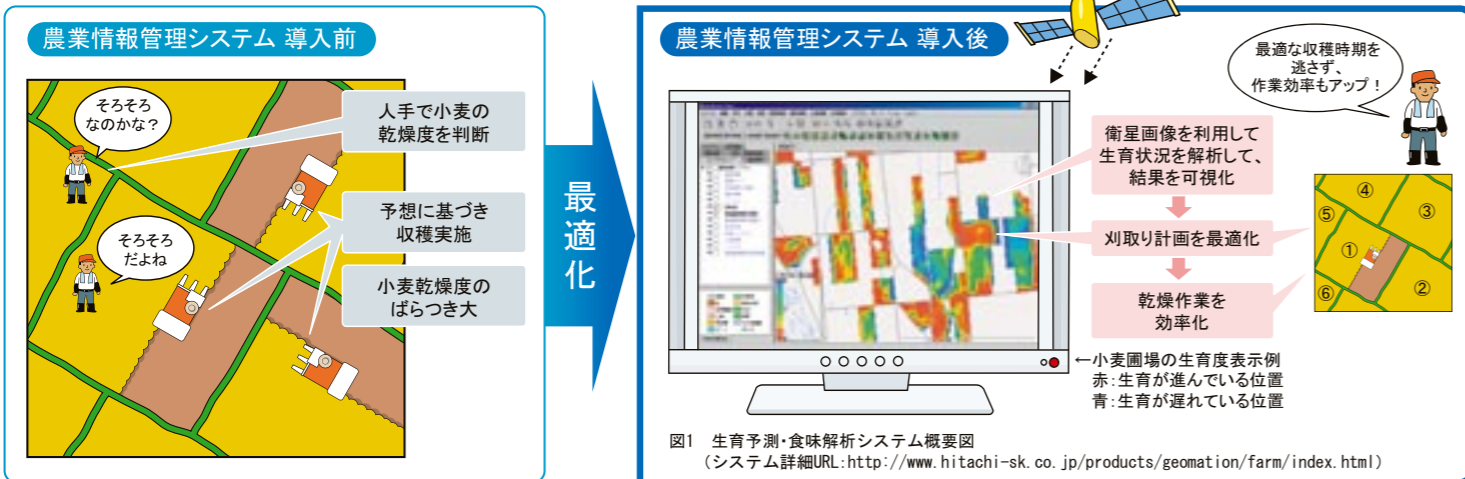
- 農業生産分野にICTを活用することにより、土壌、肥料、農薬などあらゆる農業資源について投入量の最適化と無駄の最小化を図ります。
- 小麦の生育状況を衛星画像により解析し、圃場毎に色分けして表示し、小麦の刈取り時期や刈取り順番を最適化して、刈取り後の乾燥に要する燃料の削減や刈取り作業効率の向上に貢献します。

利活用の状況と導入効果

- 平成18年より北海道の農業協同組合などで多数導入されています。従来の方法と比較して29.7%のCO₂排出量削減効果を実現しています。
- 地図情報作成の効率化により53%の省エネ効果を実現しています。

農業情報管理システム(生育予測・食味解析システム)の特徴

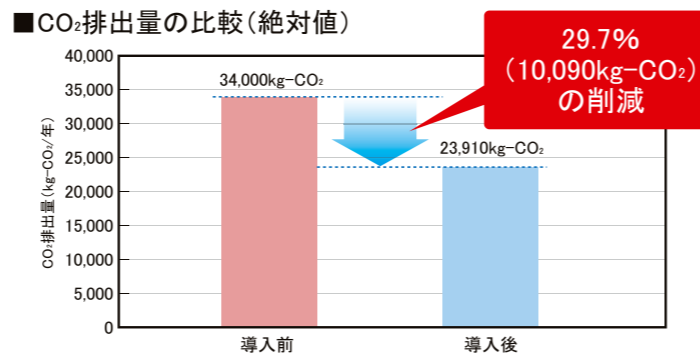
- 小麦の生育状況を衛星画像により解析し、圃場毎に色分けして表示します。
- 小麦の適正な刈取り時期や刈取り順番を最適化することで、刈取り後の乾燥に要する燃料の削減や刈取り作業の効率向上を図ります。



このシステムで、

- 刈取り作業効率UP!
- 乾燥時のエネルギー削減!

CO₂排出量を低減できるんです!



● 本件お問い合わせ先
日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社 広報 IR 部 担当：竹橋、高野
TEL：03-5780-2111 (代表) E-mail：press@hitachisoft.jp URL：http://hitachisoft.jp/

審査委員特別賞

ユビキタスセンサーネットワーク機器「フィールドサーバ」

株式会社イーラボ・エクスペリエンス

カメラと各種センサーと無線通信機器を一体化したユビキタスセンサーネットワーク機器です。農業の現場に設置して、温度、湿度、日照量、気圧、風向、現場のリアルタイム映像などの環境情報を収集・共有し、農業の生産性向上を支援します。

サービス・システムの狙い

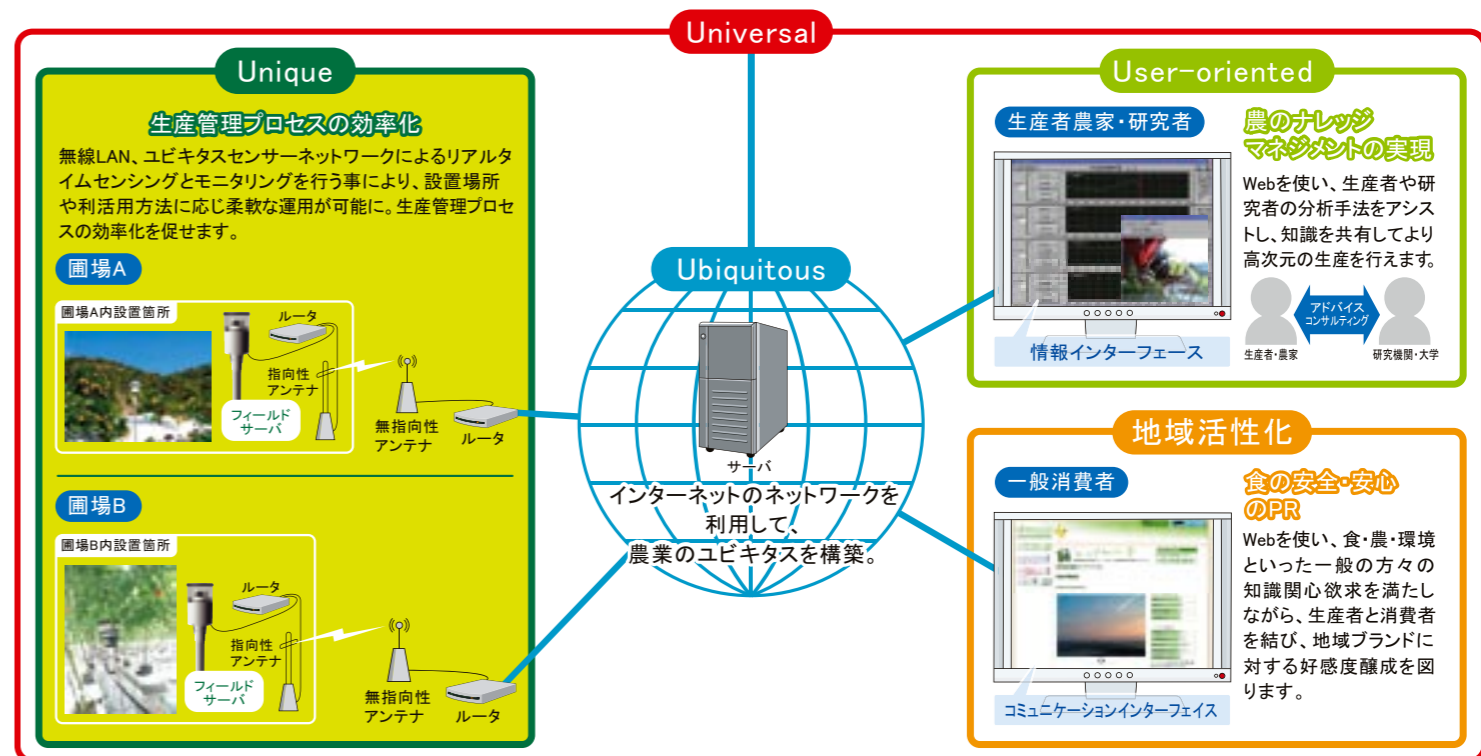
- 農業分野において、ICTを活用して「知識の共有・蓄積」を推し進めることで、若手農家の促成支援や農業の効率化・生産性向上を実現します。
- 農業生産工程の「見える化」、リアルタイムモニタリングを通じた、安心・安全のトレーサビリティ向上と地域農産品のブランド化を支援し、地域の活性化に貢献します。

利活用の状況と導入効果

- 平成18年3月より静岡県、平成19年11月より長野県、平成20年1月より香川県で導入されているほか、各地域で導入されています。
- 温度・日照積算等の指標による、適正な作業実施日の把握や害虫発生予測など、農業生産工程管理へのフィールドサーバの活用について、実証的研究が進められています。

ユビキタスセンサーネットワーク機器「フィールドサーバ」の特徴

- 営農現場の環境データを収集・蓄積して農業経営の「見える化」を促進します。
- リアルタイムモニタリングにより安全・安心のトレーサビリティを向上します。



ユビキタスセンサーネットワークとは・・・【ubiquitous sensor network】の略。ひと・モノの状況やそれらの周辺環境などを自動認識し、コンピュータ同士が自律的に連携して動作することにより、人にそのシステムを意識させず、生活を支援する技術、環境。

フィールドサーバとは・・・【field server】の略。いろいろなセンサーとネットワークカメラをコンパクトにまとめ、しかも無線LANの機能を持った、遠隔操作可能な感受システムのことです。

● 本件お問い合わせ先
株式会社イーラボ・エクスペリエンス エンジニア・マーケティング事業部 担当：島村・伊東
TEL：059-236-4886 E-mail：contact@elab-experience.com